

保存用

9月1日から
はじまります！

小河原・上深川あんしんネットワーク

～ 皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。～

目的

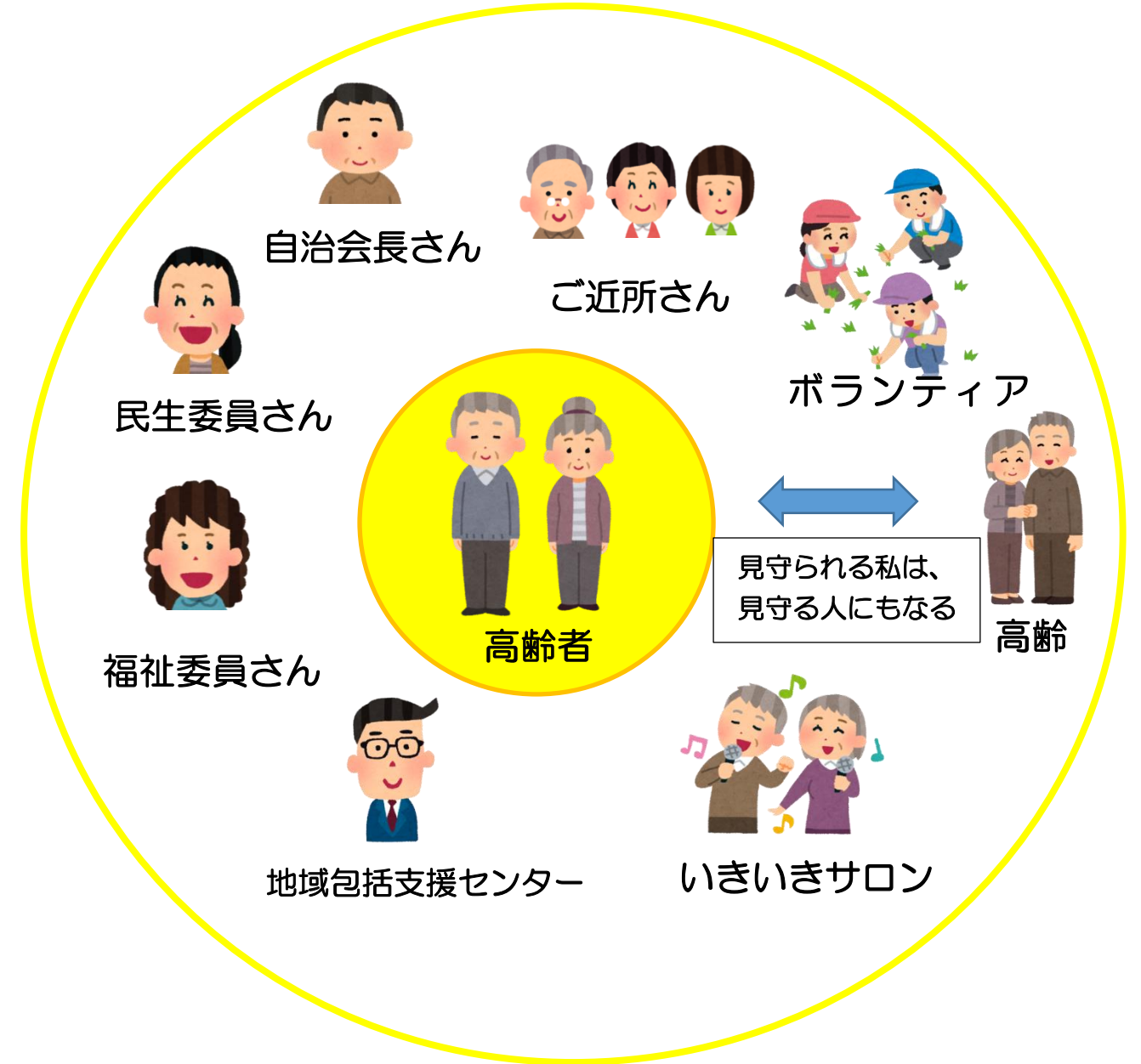
高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしていく為、困った時「助けて！」と言える“向こう三軒両隣り”のネットワークの充実を図ります。

方法

- 登録届を提出することで、いざという時、緊急連絡先に繋がります。
- 登録届の情報は、地域包括支援センターが集約します。
- 地域みんなで“さりげない”見守り合い。

登録者

65歳以上の方が対象です。



＜小河原・上深川あんしんネットワークとは＞
 小河原・上深川地区社会福祉協議会、自治連合会、民生委員・児童委員協議会、その他各種の地域団体や地域住民が一体となって、気がかりな高齢者の方に対し声かけをして、見守り等を行うとともに、支え合う地域社会づくりを進めるためのネットワークです。

＜連絡先＞
 『小河原・上深川あんしんネットワーク』事務局
 広島市高陽・亀崎・落合地域包括支援センター
 電話：082-841-5533

隣近所でお互いを気にかけて合う“向こう三軒両隣”の関係づくりをしましょう。

小河原・上深川あんしんネットワーク

登録したらどうなる？ 他地区での3つの事例



<見守りさんとは>

- ご近所さんで、“さりげない見守り”をしてくださる方。
- 登録届に、名前、連絡先などを記入させていただきます。

<包括職員とは>

- 高齢者（65歳以上）の『生活全般に関する悩みごとの相談』に対応したり、『安心して生活できる地域づくり』のお手伝いをする地域包括支援センターの職員のこと。

登録されていたAさんが認知症のため、自宅からいなくなってしまう、警察に保護されました。警察から包括職員に問い合わせがあり、“あんしんネットワーク”に登録されていたため身元が判明しました。



“あんしんネットワーク”にお互いが見守りさんで登録しているCさんとDさんです。

Cさんの家の様子が、いつもと違いました。昼になっても、カーテンが閉まったままです。

Dさんは気になり、緊急連絡先の娘さんに連絡しましたが娘さんの所にはいません。そこで、包括職員に連絡をして一緒に自宅へ行き、救急車を呼びました。倒れているCさんを見つける事が出来ました。



一人暮らしのBさんが、緊急入院をしました。“あんしんネットワーク”に登録されていたため、ご家族が見守りさんに伝え、周りの方が心配することはありませんでした。



頼りになるのは遠くの親族より、近くの他人です。